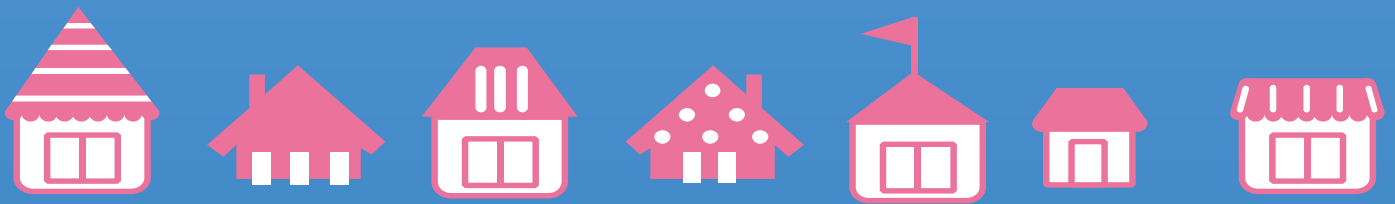


生き心地の良い町

～この自殺率の低さには理由がある～

日本で最も自殺が少ない徳島県旧海部町は、ありふれた海辺の田舎町。この町の一体なにか、これほどまでに自殺の発生を抑えているというのでしょうか。詳細な調査によってその謎を解き明かし、たどり着いたのは、“生き心地の良い”コミュニティを成す五つの要素です。そのユニークな特徴を参考に、自分たちの住んでいる地域を振り返り、よりよい町づくりについて一緒に考えませんか？



令和元年 11月17日 (日) 14時30分～16時 (開場 14:00～)

場所：鎌倉商工会議所会館 地下ホール 定員：100人 手話通訳あり (要予約)

講師



情報・システム研究機構
統計数理研究所 医療健康
データ科学研究センター
特任准教授
慶應義塾大学大学院健康マ
ネジメント研究科 特任准
教授

おか まゆみ
岡 檀 氏

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科博士課程修了。「日本の自殺希少地域における自殺予防因子の研究」で、博士号取得。コミュニティの特性が住民の心身の健康にもたらす影響について関心を持ち、フィールド調査やデータ解析を重ねている。

参加費：無料 どなたでも参加できます
託児なし (同じ部屋で一緒にどうぞ)

受付期間：9月2日(月)から11月8日(金)まで

受付方法：電話・FAX・Eメール

電話：0467-24-3900 内線 252

FAX：0467-24-4379

Eメール：kamahofuku.1578.yobou@pref.kanagawa.jp

件名：11月17日講演会参加希望

①氏名 ②連絡先 ③年代 ④ お住まいまたは
在勤在学の市町 ※手話通訳希望の場合は
10/31までに申込みください。

申込み・問い合わせ先

神奈川県鎌倉保健福祉事務所 保健予防課

「いきるを支える鎌倉・逗子・葉山」実行委員会

国の自殺者数は平成 24 年、15 年ぶりに 3 万人を下回り、減少傾向にありますが平成 30 年は 20,840 人、毎日およそ 57 人、約 25 分に 1 人が自殺で亡くなっています。

神奈川県では、平成 19 年から自殺対策に取り組み、各地域で普及啓発を行ってきました。平成 21 年、「こころの健康、生きる」をテーマに地域の行政（鎌倉市、逗子市、葉山町）と民間の機関（地域生活サポートセンターとらいむ、鎌倉市社会福祉協議会、逗子市社会福祉協議会、葉山町社会福祉協議会）、神奈川県（鎌倉保健福祉事務所）が連携し、「いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会」を立ち上げました。

自殺予防の講演会やキャンペーン活動に取り組み、命の大切さに理解を深め、自殺や精神疾患に対する正しい知識を普及することにより、互いにささえあえるような地域づくりを目指しています。

申込み方法

電話、FAX、Eメールで受付を行っております。定員以上の申込みがあった場合、鎌倉市、逗子市、葉山町在住・在勤・在学の方を優先する場合があります。その場合、ご連絡させていただきますのであらかじめご了承ください。

受付期間：令和元年 9 月 2 日（月）から 11 月 8 日（金）

申込み先：鎌倉保健福祉事務所 保健予防課

電話：0467-24-3900（代）内線 252

FAX：0467-24-4379

Eメール：kamahofuku.1578.yobou@pref.kanagawa.jp

件名：11月17日講演会参加希望 ①氏名 ②連絡先 ③年代 ④お住まいまたは在勤在学の市町 ⑤手話通訳希望の有無をご記入ください。



送信先 FAX : 0467-24-4379

申込み日： 月 日

11月17日講演会「生き心地の良い町 ～この自殺率の低さには理由がある～」 申込みフォーム	
氏名	
連絡先	※当日連絡が取れる電話番号 ()
年代	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上
在住・在勤・在学地	鎌倉市 ・ 逗子市 ・ 葉山町 ・ その他 ()
希望があれば○印	手話通訳（ご希望される場合は10月31日までに申込ください）

※頂いた個人情報は、本講演会に関する目的以外には使用しません。